2013年度

(公財)愛知大学教育研究支援財団 奨励賞授与式

後援会奨励賞　同窓会奨励賞　クラブ愛知賞

愛知大学 公務員試験合格者奨励賞授与式

日時｜ 2014年３月１日（土）11:00～12:30
場所｜車道校舎　本館３階　コンベンションホール

プログラム

一．開式
一．挨拶　(公財)愛知大学教育研究支援財団 理事長　加藤満憲
一．後援会奨励賞
　選考結果報告　愛知大学 学生部委員長　永戸力
　奨励賞授与　愛知大学後援会 会長　兵藤文男
一．同窓会奨励賞
　選考結果報告　愛知大学同窓会 広報委員長　堀田久富
　奨励賞授与　愛知大学同窓会 会長代行　加藤満憲
一．クラブ愛知賞
　選考結果報告及び授与　クラブ愛知 会長　服部晋吾
一．愛知大学公務員試験合格者奨励賞
　試験結果報告
　　愛知大学 就職委員長　吉川剛
　奨励賞授与　愛知大学 学長　佐藤元彦
一．受賞者代表謝辞
　公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表
　後援会奨励賞受賞者 代表
　同窓会奨励賞受賞者 代表
一．閉式

愛知大学 AICHI UNIVERSITY
公益財団法人 愛知大学 教育研究支援財団

2013年度　同窓会奨励賞受賞者一覧

●最優秀奨励賞

個　人

松井（まつい）　善則（よしのり）氏 ｜ 昭和36年法経学部法学科卒業

全日本空手道連盟和道会総本部理事長

◆ 推薦趣旨 ◆

松井善則さんは、入学以来56年間事業と併行して空手道に打ち込み、地域の空手道の普及指導につくされ、近年は全日本和道会の理事長に選任された。平成23年には県立体育館にて世界大会を開催し各国との交流を深め親睦と友情を広げる等、現在も活躍されていることは愛知大学の誇りである。なお、和道会は国内1350支部、海外250支部、会員数約185万人。松濤館流、剛柔流、糸東流とあわせて空手4大流派のひとつと数えられている。

◇ 略歴 ◇　昭和14年愛知県西尾市に生まれる。昭和32年愛知大学法経学部入学と同時に空手部に入部。昭和53年公益財団法人全日本空手道連盟公認全国審判員に東海地区第一号および最年少にて合格。平成2年和道会総本部全国理事に就任。平成15年東海学生空手道連盟理事長に就任。平成23年和道会総本部理事長に就任。

藪内（やぶうち）　繁己（しげみ）氏 ｜ 経済学部経済学科教授

小島清賞研究奨励賞の受賞

◆ 推薦趣旨 ◆

経済学部の藪内繁己教授は2013年10月13日、日本国際経済学会「小島清賞研究奨励賞」を受賞した。同賞は、2005年小島清一橋大学名誉教授・日本国際経済学会名誉顧問の寄付によって設立され、「国際経済に関する学術研究において、特に優れた業績を上げた者であって、さらなる研究の奨励に値する者に対して授与する」とされている。

今回の受賞は、藪内教授の『産業関連と国際貿易』（日本評論社、1984年）などの著書と、「Journal of International Economics」や「Review of International Economic」といった海外の査読付き学術雑誌に掲載された数多くの国際貿易理論に関する業績が評価されたことによる。

◇ 略歴 ◇　1950年和歌山県生まれ／1981年兵庫県立神戸商科大学大学院博士課程を修了後、愛知大学法経学部に講師として着任／1989年愛知大学経済学部教授／1994年名古屋市立大学経済学部に移籍／2009年愛知大学経済学部に教授として復帰、現在に至る。この間、名古屋市都市計画審議会委員、日本経済学会理事、日本国際経済学会理事などを歴任。専門は国際貿易と貿易政策の理論的研究。著書に『産業連関と国際貿易』（日本評論社）、『現代貿易理論の潮流』（中央経済社、共著）など、また内外の学術誌に論文多数。

水野（みずの）　宗徳（むねのり）氏 ｜ 平成7年経済学部卒業

放送作家・脚本家・小説家として数々の執筆活動と各種の受賞

◆ 推薦趣旨 ◆

水野宗徳さんは、1972年8月1日、名古屋市生まれ。1995年に愛知大学経済学部を卒業した。愛知大学在学中は、落語研究会に所属し、漫才コンビで各種の賞を受賞し、太田プロダクションに入社し、芸能界入りをはたした（その後コンビ解散）。

1996年に放送作家としてデビューし、「笑っていいとも！」（フジテレビ）をはじめ多くのバラエティー番組に携わるほか、連続ドラマの企画＆脚本、国民的アニメ「ドラえもん」（テレビ朝日／2007年～現在）のシリーズ構成を務めるなど幅広く活躍中である。ドキュメンタリー番組も数多く手がけ、「ママからの手紙」（福井テレビ）で第38回放送文化基金エンターティメント番組賞を受賞。構成メンバーとして参加した「ワンステップ！」（TBS）では、2009年ギャラクシー賞を受賞した。

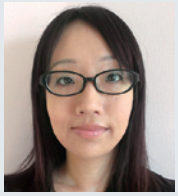
また、「おっぱいバレー」（リンダパブリッシャーズ）で小説家デビューを果たし、中学校バレー部を舞台にした青春小説はベストセラーとなり、2009年に綾瀬はるか主演で映画化された。2010年、戦時中の軍犬をテーマに描いた「さよなら、アルマ」（サンクチュアリ出版）が、NHK スペシャルにてドラマ化されるなどマルチな才能を如何なく発揮し、企画・構成等で数多くテレビ番組に携わっている。

◇ 略歴 ◇　1995（平成7）年愛知大学経済学部卒。1996（平成8）年放送作家デビュー。有限会社 Planing8代表取締役／日本脚本家連盟・日本放送作家協会会員
受賞歴：2009（平成21）年ギャラクシー賞（構成参加）。2011（平成23）年第38回放送文化基金エンターテイメント番組賞。2013（平成25）年日本文藝家協会ベストエッセー選定（中日新聞コラム「ジャングルとピッグ」）。

●優秀奨励賞

個　人

奥田（おくだ）　亜希子（あきこ）氏 ｜ 平成18年文学部哲学科卒業



第37回すばる文学賞受賞

◆ 推薦趣旨 ◆

奥田亜希子さんは、集英社が主催する純文学の公募型新人文学賞の「すばる文学賞」を受賞された。受賞作品は文芸誌「すばる」11月号に掲載され、今回は、1433作品の応募の中から2作品が受賞し奥田さんの作品がそのうちの1作品に選ばれた。選考委員は、江國香織、奥泉光、角田光代、高橋源一郎、堀江敏幸の5名で新人作家の登竜門とされ、今後の活躍が大いに期待できるものである。

◇ 略歴 ◇　1983(昭和58)年愛知県に生まれる。2002(平成14)年愛知大学文学部哲学科東洋哲学専攻入学。2006(平成18)年株式会社明光企画に勤務するかたわら小説の執筆を始める。

青柳（あおやぎ）　妃咲（ひさき）氏 ｜ 短期大学部ライフデザイン総合学科2年次生

文部科学省後援 実務技能検定協会主催 秘書技能検定日本秘書クラブ賞賛状受賞
文部科学省後援 実務技能検定協会主催 秘書技能検定1級取得

◆ 推薦趣旨 ◆

青柳妃咲さんは、文部科学省後援 実務技能検定協会主催の秘書技能検定において準1級を優秀な成績にて合格し、日本秘書クラブ賞賛状を受賞した。この賞は12,899名の受験者のうち全国で14名のみに与えられる賞である。

またその後最上級である1級を筆記試験、面接試験をともに一度で合格した。1級は社会人にとっても難関であるとされ、愛知大学において短大生での合格は初めてである。

秘書技能検定は「人柄育成」を掲げているが、候補者はこの検定を通して得たことを活かし、学友会会長として人望を集め、また就職活動においても数社から内定をもらうなど確実に成果を出していることは賞賛に値する。

◇ 略歴 ◇　2012(平成24)年愛知大学短期大学部ライフデザイン総合学科入学

●奨励賞

個　人

岡林（おかばやし）　鎮雄（しずお）氏 ｜ 昭和32年文学部文学科卒業

短歌指導（皇居歌会はじめ入選、朗詠）

◆ 推薦趣旨 ◆

昭和32年文学部卒。郷里で小中高校国語を中心に教師を務め、この間歌作に精進し、平成12年の宮中歌会始めでは応募総数23,157首の中から入選し、天皇陛下の前で歌が詠まれた。入選作品は「時」を御題に詠んだ「ひらひらという語教えて　ひと時を　留学生ら花吹雪浴ぶ」で、中国からの留学生を指導し、日中親善に貢献したときの一首。

歌作の実力、国際交流の実績とも同窓会奨励賞に該当するものである。

◇ 略歴 ◇　1979(昭和54)年中学校勤務。1985(昭和60)年小学校長。1994(平成6)年退職。1995(平成7)年長門市教育委員会勤務。1997(平成9)年長門高等学校勤務（中国留学生担当）。2000(平成12)年歌会始入選（題、時）。

鎌谷（かまたに）　克彦（かつひこ）氏 ｜ 昭和40年法経学部法学科卒業

28年間保護司として活動

◆ 推薦趣旨 ◆

昭和60年12月から保護司として活動。平成20年5月から高岡市保護司会副会長に就任。平成25年5月からは高岡市保護司会会長に就任。

保護司として、28年間、社会奉仕の精神をもって、犯罪をした者の改善及び厚生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努め、もって地域社会の浄化をはかり、個人及び公共の福祉に寄与している。

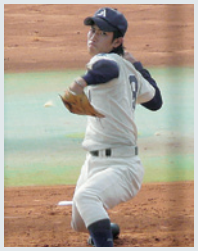
（参考）保護司になるためには、保護司法に基づき、次の条件を備えていることが必要。

・人格及び行動について、社会的信望を有すること　・職務の遂行に必要な熱意及び時間的余裕を有すること
・生活が安定していること　・健康で活動力を有していること

なお、この間、社長として会社経営に従事している他、愛知大学富山支部長としても活動しています。このような社会貢献は、卒業生として愛知大学の栄誉を高めており、同窓会の奨励賞に相応しいものである。

◇ 略歴 ◇　1965(昭和40)年法経学部法経学科卒業。1966(昭和41)年化学薬品等卸売業を起業、2010(平成22)年まで代表取締役。1985(昭和60)年保護司拝命、1989(平成元)年人権擁護委員拝命、各協議会長を歴任し現在に至る。元同窓会富山支部長、富山支部相談役

祖父江（そぶえ）　大輔（だいすけ）氏 ｜ 平成22年経済学部卒業



硬式野球

◆ 推薦趣旨 ◆

祖父江大輔さんは、愛知大学入学入学から投手を始めたが、4年次生の時に日米大学野球の選考合宿を経験し、秋季リーグ戦では5季ぶりに1部昇格即優勝を成し遂げた秋季リーグでは最優秀選手賞、ベストナイン賞を獲得するなど目覚ましい活躍をはたした。トヨタ自動車入社後も1年目から公式戦に出場し、主に中継ぎ･抑えとして全国大会で活躍。4年目となる今年は、先発エースとして日本選手権大会出場に貢献し、また中日2軍戦に6回無失点の粘投を披露するなど脚光を浴び、ドラフト会議で中日ドラゴンズから5位指名を受け、本学の名を大いに高めることに貢献した。

	試合		回数	被安	奪三	四死	自責	防御率
【大学時代：リーグ戦成績】	通算：50	23勝10敗	310	192	331	126	50	1.45
【トヨタ自動車時代：全国大会成績】	通算：8		20	20	20	9	7	3.15

◇ 略歴 ◇　2010(平成22)年愛知大学経済学部卒業。トヨタ自動車入社／2013(平成25)年、中日ドラゴンズよりドラフト5位指名を受ける。

赤田（あかだ）　龍一郎（りゅういちろう）氏 ｜ 2006(平成18)年経済学部入学

硬式野球

◆ 推薦趣旨 ◆

赤田龍一郎さんは、静岡学園高校で1年秋から4番を打ち、高校通算31本塁打を記録。愛知大学では2年春から4番を任され、4年秋のリーグ戦では打点王となり、同校の1部昇格即優勝に貢献した。当時バッテリーを組んでいたのは2013年のドラフトで中日ドラゴンズから5位指名を受けた祖父江大輔さんである。

2009年のドラフトで中日ドラゴンズから育成2位指名を受け、入団。2013年5月1日に支配下選手契約を結び、翌5月2日に支配下登録された。2013年8月1日には、対阪神戦でプロ初打席で出場。

◇ 略歴 ◇　2006(平成18)年愛知大学経済学部入学。2009(平成21)年中日ドラゴンズ育成枠にて入団。2013(平成25)年支配下登録

●奨励賞

団　体

愛知大学サッカー部　4年次生

サッカー活動

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学サッカー部は東海学生リーグ2部に属しているが、スポーツ推薦枠もなく笹島移転に伴うグラウンドも未確保の中でも大いに努力しており、今年のリーグ戦は最終戦まで入れ替え戦に参加するなど本学サッカー部の知名度向上に貢献した。限られた予算のため、選手自らの負担でコーチ契約を結び(コーチ名、吉田光輝、元日本代表、ドーハの悲劇のメンバー)、今年の1年生の中にはコーチを慕って本学に入学した生徒もいるなど、自主的に活動する現役サッカー部員は本学の模範となるものである。

(劇)上海自転車

(劇)上海自転車による「本間喜一物語～はじまりの手紙～」上演大成功

◆ 推薦趣旨 ◆

(劇)上海自転車は、本学卒業生である中野菜保子氏が代表を務める演劇製作ユニットで、劇団としては2001（平成13）年9月23日に旗揚げ、2002年１月13日に七つ寺共同スタジオで旗揚げ公演を行い、2011年に現在の(劇)上海自転車に変更された。(劇)上海自転車は、年に1回の定期公演(2008年以降外部オファー対応)、ランの館等ナロースペースや劇場自主企画での朗読劇講演、市の防犯劇(2回担当)上演、ラジオ･テレビ出演、演劇指導、映像におけるエキストラ派遣等、幅広い活動を展開されている。愛知大学に関与した公演としては、2010年8月7日の安城支部総会におけるアトラクション「オツベルと象」公演、昨年（2012年）名古屋校舎で開催された同窓会設立60周年記念全国総会･記念祭での「本間喜一物語～はじまりの手紙～」などがある。

2013年に豊橋校舎内旧学長室で行った公演では、彫心鏤骨、真柏の演技は観客を感動のルツボに巻き込み、あるものは感涙し、あるものは沈思黙考し、しばしの静寂の後、割れんばかりの拍手に会場は包まれた。この感動が同窓生、在学生、入学を希望する者、全ての人間に深く刻まれ、忘れることのないよう、ここに同窓会奨励賞を贈ることにする。

愛知大学昇龍道（しょうりゅうどう）プロジェクト学生運営委員会

代表：豊田佳菜Ｊ
委員：伊藤湧平Ｅ　星野汐里Ｃ　寺澤絵理奈Ｊ　森優香子Ｊ　渡邉明里Ｍ
久留宮彩加Ｅ　若杉茜Ｍ　鈴鹿友里恵Ｊ　鈴木裕晶Ｅ

学生の企画・運営によるによる昇龍道プロジェクトの成功

◆ 推薦趣旨 ◆

昇龍道プロジェクト支援企画「学生による中部観光提案コンテスト～三重県編～」の実施に際し、学生による企画・運営の組織化は初めてであったが、2013年 .5月までの運営委員募集に22名の応募があり、応募動機等記載のレポートにより選考の結果、10名による学生運営委員会（以下「運営委員会」）が発足した。

参加チーム募集ガイダンスのビラ配りに始まり、募集ガイダンス、現地日帰り視察ツアー、当日の運営など、関係者との連絡調整・引率・アンケート実施に至るまで、学生自身によるハンドリングはみごとになでに実施された。

メンバーは学部が異なり、授業から就職対応に至るまで大変な時期であったが、運営委員会は記録に残るだけでも16回開催されている。また、広報活動も積極的に行い、三重県庁・三重テレビ・中日新聞三重総局を訪問した結果、現地視察ツアーは中日新聞三重版、三重テレビで取り上げられている。また、本選時には、中日新聞本社、東海テレビを訪問し、本選の模様は中日新聞、東海テレビ、三重テレビで取り上げられた。その他、本学公式のフェイスブック活用など、広報活動に力を入れたことも特筆すべき事項であろう。昇龍道プロジェクト提案コンテストを見事に成功裏に終えることが出来たのは、正に運営委員会による汗と涙の結晶に他ならない。

Ｊ：法学部　Ｅ：経済学部　Ｍ：経営学部　Ｃ：現代中国学部　　学年は全て3年生。

●クラブ愛知賞

団　体

国際協力サークル「SEED」

フェアトレードの普及活動

◆ 推薦趣旨 ◆

フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指ざす「貿易のしくみ」のことをいう。

国際協力サークル「SEED」は、「お買い物でできる国際協力」をモットーとし、フェアトレードの普及活動に力を入れており、主な活動内容として、学内の生協店舗でのフェアトレード商品販売、フリーペーパーの発行、愛大祭での出店などをおこなっている。

学外でのイベントにも積極的に参加し、JICA 等の他団体との交流も行うなど、更なる知識探究と本学の名を高める活動は大いに評価できるものである。

●資格試験奨励賞

司法試験

篠田　篤
法科大学院法務研究科2010年修了

浅野　聡志
法科大学院法務研究科2011年修了

森下　和也
法科大学院法務研究科2012年修了

長谷川　康
法科大学院法務研究科2012年修了

井神　貴仁
法科大学院法務研究科2013年修了

佐竹　康孝
法科大学院法務研究科2013年修了

田島　輔
法科大学院法務研究科2013年修了

田島　港
法科大学院法務研究科2013年修了

福井　淳也
法科大学院法務研究科2013年修了

藤川　雄太
法科大学院法務研究科2013年修了

増本　陽
法科大学院法務研究科2013年修了

水野　圭助
法科大学院法務研究科2013年修了

公認会計士試験

塚本　光賀
会計大学院会計研究科2012年修了

金澤　信由
会計大学院会計研究科2013年修了

篠田　明宏
会計大学院会計研究科2年次生

司法書士試験

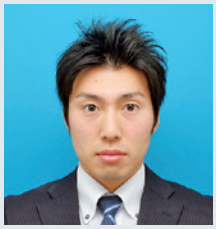
岩井　保寛
法学部法学科2011年3月卒業

土田　梨菜
法学部法学科2011年3月卒業

税理士試験

江見　克之
会計大学院会計研究科2010年修了

安井　弘高
会計大学院会計研究科2011年修了



田中　堅二郎
会計大学院会計研究科2012年修了

学生教育活動顕彰（後援会奨励賞、同窓会奨励賞、クラブ愛知賞）

概　要

愛知大学関係者（教職員、在学生等）および愛知大学の卒業生が、社会・文化・学術・芸術・スポーツ・社会貢献などの分野において活躍し、一定以上の成果をおさめた個人および団体に対し、その栄誉を称え、一層の励みとすることを目的に顕彰する。

給付金額

① 最優秀奨励賞：100,000円
② 優秀奨励賞　：50,000円
③ 奨励賞　　：30,000円
④ クラブ愛知賞：100,000円

＊個人には給付金額相当の記念品を贈呈する。

申請時期

1月末まで

出願資格

（学術・文化の部）
① 最優秀奨励賞：
　全国的な学術・文化活動並びに大会で特に優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
② 優秀奨励賞：
　中部、東海地区およびそれに準じた地区大会で優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
③ 奨励賞：
　上記以外の活動、大会で優秀と認められた個人及び団体

（スポーツの部）

	① 最優秀奨励賞	② 優秀奨励賞	③ 奨励賞
国際・全日本大会（予選あり）	優勝、準優勝、3位	4位－8位	出場者
国際・全日本大会（予選なし）	優　勝	準優勝、3位	4位－8位
中部・東海地区大会及びそれに準ずる大会		優　勝	準優勝
その他の大会			優　勝
マネージャー等			所属部の発展に貢献した者（卒業年次生）

（社会貢献の部）
① クラブ愛知賞：
　愛知大学に在学する学生や学生達で構成する団体で、顕著な社会貢献活動が認められた個人及び団体

必要書類

奨励賞推薦書

決定方法

後援会奨励賞は、愛知大学の教職員で構成される選考委員会（学生部委員会または運動部長協議会）にて選考し、愛知大学教育研修支援財団に出願された書類をもとに本財団で審査を行い、理事長が決定する。
同窓会奨励賞は、愛知大学同窓会より推薦のあった候補者を本財団で審査を行い、理事長が決定する。

同窓会資格試験合格者奨励賞

概　要

愛知大学教育研究支援財団が決めた資格試験（司法試験、公認会計士試験、弁理士試験、国家公務員総合職試験、司法書士試験、税理士試験）に合格した者に対して表彰し記念品を贈呈する。

金　額

30,000円相当の記念品

出願資格

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中または卒業した者で当該の資格試験に合格した者

必要書類

① 資格試験奨励賞申請書
② 当該の資格試験に合格したことを証明する書類（写し）
③ 在学証明書または卒業（終了）証明書

決定方法

出願された書類をもとに、愛知大学教育研究支援財団での審査を経て決定する。